



## 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の中間評価でS評価(最高評価)を獲得

2017年に採択された、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の中間評価において、S評価(所期の計画を超えた取組が行われている)をいただきました。本事業にご参画、ご協力をいただいているすべての皆様に感謝申し上げます。

これまで共同実施機関の大分工業高等専門学校、三和酒類株式会社、フンドーキン醤油株式会社、三井住友建設株式会社、並びに協力機関の住友化学株式会社大分工場、大分キャノンマテリアル株式会社、株式会社オーイーシー、株式会社別大興産、佐伯印刷株式会社、株式会社モアモスト、株式会社みらい蔵、ニッコン株式会社、合同会社アイ.ジー.シーと共に、シンポジウム、セミナー、異業種交流会、女性人材育成プログラム等を行い、女性・男性それぞれの意識改革や共同研究の成果によるものづくり企業のダイバーシティ牽引などにつなげてまいりました。

今後も様々な取組を通じ、女性研究者・技術者のみならず、全ての人がいきいきと働けるよう、最終3年間の事業終了後とその先を見据え、歩みを進めてまいります。

どうぞこれからも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
S	a	S	S	a

国立研究開発法人科学技術振興機構ホームページより [https://www.jst.go.jp/shincho/hyouka/josei\\_shien.html](https://www.jst.go.jp/shincho/hyouka/josei_shien.html)

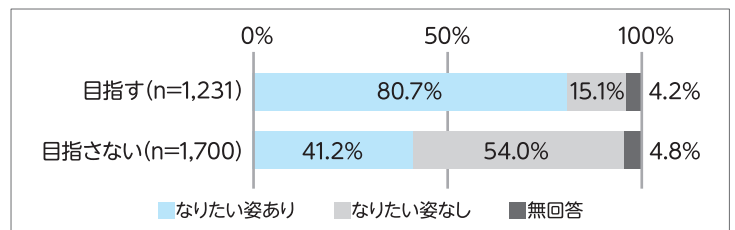
## ダイバーシティ推進活動における「女性活躍推進」の取組実態に関する調査報告(分析編)

大分県内の企業等を対象に2018年に実施した、ダイバーシティ推進活動における「女性活躍推進」の取組実態に関する調査報告書(分析編)を発行しました。結果の一部をご紹介します。

### ■将来のビジョンをもつことと上昇志向の高さの関連性

「将来のビジョンや自分のなりたい姿をもっている」と答えた人の80.7%が、「今の職場で上の職階を必ず目指す・できれば目指したい」と回答しました。

これに対し、「将来のビジョンや自分のなりたい姿をもっていない」と答えた人の15.1%が、「今の職場で上の職階を必ず目指す・できれば目指したい」と回答しました。将来のビジョンをもつことと上昇志向の高さには少なからず関連性があると考えられます。

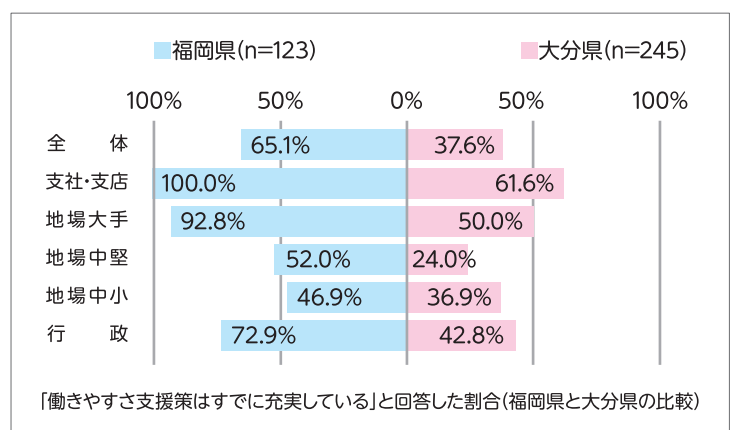


### ■働きやすさ支援策の現状(大分県と福岡県の比較)

「働きやすさ支援策はすでに充実している」と回答した割合は、福岡県65.1%に対し、大分県は37.6%となりました。機関別に見ても、全て福岡県のほうが回答の比率が高くなりました。大分県と福岡県で比較すると、大分県は全体的に働きやすさ支援に向けた取組が遅れていることが示唆されます。

※本調査において、働きやすさ支援策は次のように定義しています。働きやすさ支援策:社員・職員の仕事と私事「育児・介護・ガン等の重い疾病・在宅勤務・副業認可」などの両立の支援策(例:配偶者の出産に伴う休業、育児休業、短時間勤務、テレワーク、一定労働の一定期間免除などの制度)

※九州での女性活躍推進の進捗を比較するため、2017年に福岡県の女性の活躍推進福岡県会議が実施した「女性の活躍推進実態調査」の結果を参考にしています。



# 2019年度後期の活動報告

## ◆ 英語プレゼンテーションセミナー

開催日：2019年10月18日(金)

21名  
参加

杉山大輔氏(株式会社インターテラシー代表取締役/「私の哲学」編集長)を講師にお招きし、英語プレゼンテーションセミナーを開催しました。普段の英語で取り入れられる英語学習法、伝える英語のための意識改革等について学びました。



## ◆ 研究倫理教育セミナー

開催日：2019年11月21日(木)

12名  
参加

中安豪氏(ロバスト・ジャパン株式会社代表取締役)を講師にお招きし、研究倫理教育セミナーを開催しました。第1部で「研究活動におけるコンプライアンス」について、第2部で「研究活動における不正行為」についてお話しいただき、研究倫理の重要性について学びました。



## ◆ 第2回共同研究報告会

開催日：2019年11月21日(木)

17名  
参加

大分大学、大分工業高等専門学校、三和酒類(株)、フドーキン醤油(株)、三井住友建設(株)が共同で行っている産学連携共同研究について2回目となる報告会を実施しました。共同研究の進捗状況や成果について研究者より報告がありました。



## ◆ おおいた女性人財育成プログラム

- 2019年11月26日(火)……………17名参加
- 2019年12月23日(月)……………22名参加
- 2020年1月23日(木)……………18名参加
- 2020年2月20日(木)……………18名参加

組織の中で研究者・技術者として働く女性を中心に、これから研究・技術職を目指す女性、やる気と能力を高めたいと考えている女性たちが、交流や対話・専門的な学修を通じて、自分の魅力を再発見し、知見を磨き、キャリアを向上させるための動機づけと自信をもていただくことを目的とし、全4回にわたり開催しました。



## ◆ 第3回ダイバーシティシンポジウム

開催日：2019年12月23日(月)

145名  
参加

第3回ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)シンポジウム「働く人も組織も成長するために」をレムブランドホテル大分にて開催しました。講師には、お一人目に佐々木常夫氏(株式会社佐々木常夫マネジメントリサーチ代表取締役)を迎え、「個人も組織も成長するための働き方改革」をテーマにご講演いただきました。またお二人目に隈扶三郎氏(株式会社西部技研代表取締役社長)を迎え、「グローバル展開を支える人材戦略」についてご講演いただきました。次いで、大分大学及び本事業の共同実施機関の代表者が登壇し、女性活躍推進の取組と課題について発表しました。最後に、佐々木氏と隈氏をはじめ、7名の方にご登壇いただき、会場からの質問をもとにフリートークを行い、ダイバーシティに関する意見交換の場となりました。



## ◆ ダイバーシティセミナー

開催日：2020年1月14日(火)

19名  
参加

田中慶子氏(ダイバーシティコンサルタント/WLBコンサルタント/ディ・マネジメント株式会社代表取締役)を講師にお招きし、「ダイバーシティ推進&働き方改革が未来を拓く」と題し、これからの時代のダイバーシティ推進についてお話しいただきました。



## ◆ 産学連携ロールモデル誌の発行

産学連携ロールモデル誌No.3を発行いたしました。企業の女性社員や大分大学の教員にお話しを伺いました。

県内の中学・高校、関連機関等に配布する予定です。冊子をご希望の方は、ダイバーシティ推進本部までご連絡ください。



## ◆ 2017～2019年度活動報告書の発行

文部科学省科学技術人材育成費補助事業の「2017～2019年度活動報告書」を発行いたしました。ダイバーシティ推進本部がこれまでに行った活動について記載しています。

冊子をご希望の方は、ダイバーシティ推進本部までご連絡ください。



編集・発行元



国立大学法人 大分大学 ダイバーシティ推進本部

〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地 TEL.097-554-7339/097-554-7337

E-mail▶cd-diver@oita-u.ac.jp

https://diver.fab.oita-u.ac.jp/